

## 学会誌 Viva Origino 投稿規定

Viva Originoは2001年より電子ジャーナルとしても刊行されています。(http://www.origin-life.gr.jp) それに伴い、投稿規定が下記のように改正されました。

### I. 論文の種類

使用言語は英語または日本語とする。

投稿は、以下の区分 1～3 のいずれかに分類する。

1. Review : 解説または総説
2. Article : オリジナルな研究結果の報告
3. News and Views :
  - a) 研究報告、解説、総説に対するコメント
  - b) 研究に対するプリンシプルなアイデア、意見
  - c) 国内外の関係学会報告
  - d) 教育・研究体制に関する意見
  - e) その他

### II. 英文原稿作成の手引き

1. 本文は Microsoft Word (Windows , Macintosh Versions)を標準使用とする。ただし、Microsoft Word が不可の場合のみ、text file を受け付ける。本文は single space で作成し、フォントは Times or Times New Roman の 10 ポイントを標準使用とする。
2. 論文冒頭にはタイトル（全てを大文字とする）、著者名、所属機関、所在地、郵便番号をこの順で明記する。代表著者は所属機関の名称、所在地、郵便番号、FAX 番号、E-mail address を付記する。
3. タイトル、著者名に続けて、キーワード（10 語まで）、ランニングタイ

トル、要旨（300 語以下）を付記する。

4. 論文は緒論、方法、結果、討論、謝辞、引用文献の順に構成する。
5. 引用文献は引用順に、本文中に通し番号で[1], [2].....のように表示し、本文末尾に引用文献表を付して次のように記す。
  1. Kawamura, K., Kameyama, N. and Matsumoto, O. Kinetics of hydrolysis of ribonuclease polymers in aqueous solution at elevated temperatures, Viva Origino 27, 107-118 (1999).
  2. Bock, G. R. and Goode, J. A. Ed., Evolution of hydrothermal ecosystems on Earth (and Mars?), Ciba foundation symposium 202; pp. 334, John Wiley & Sons Ltd., Chichester, 1996.
6. ファイルの保存形式については、Word で作成した本文の文末に図表（次項で詳説）を挿入し保存する。
7. 図表は下記の基準によって準備する。
  - a) 図および写真には Fig.1, Fig.2 等、また表には Table 1, Table2 等の通し番号をつけ、本文の後に付記する。
  - b) 図の番号、表題、説明は図の下に、表の番号、表題、説明は表の上、又は下に記し、本文を読まなくても、図表のみで独立して意味が分かるように記す。
  - c) 図および写真は GIF, JPEG 形式で保存、表は Excel 98 を標準仕様とする。
8. 単位と記号は、国際的に慣用されているものを用いる。単位は CGS(MKS)

系または SI 系を原則とし、両者を混用しない。

9. 術語および略語は、IUPAC-IUB の勧告を基準とする。化合物名等で英語表記がよいと判断されるものは、英語表示とする。その他は一般に関係学会誌等で使用されているものにならう。
10. 標準使用とされているアプリケーションの使用が困難な場合には、個別、柔軟な対応が可能である。

## II. 和文原稿作成の手引き

1. 本文は Microsoft Word (Windows 又は Macintosh Versions) を使用。どうしても Microsoft Word が不可の場合のみ、テキストファイルを受け付ける。フォントは Windows user は MS 明朝、Macintosh user は平成明朝 10 ポイントを使用する。
2. 和文原稿の場合には初めに英文要旨をつける。(和文要旨は不要。) 英文要旨冒頭には、タイトル(大文字とする)、著者名、所属機関、所在地、郵便番号を明記する。代表著者は所属機関の名称、所在地、郵便番号、FAX 番号、E-mail address を付記する。タイトル、著者名に続けて、キーワード(10 語まで)、ランニングタイトル、要旨(300 語以下)を付記する。英文要旨のフォントは Times or Times New Roman の 10 ポイントを使用する。
3. 論文は緒論、方法、結果、討論、謝辞、引用文献の順に構成する。
4. 引用文献は引用順に、本文中に通し

番号で[1], [2].....のように表示し、本文末尾に引用文献表を付して次のように記す。

1. Kawamura, K., Kameyama, N. and Matsumoto, O. Kinetics of hydrolysis of ribonuclease polymers in aqueous solution at elevated temperatures, *Viva Origino* 27, 107-118 (1999).
2. Bock, G. R. and Goode, J. A. Ed., *Evolution of hydrothermal ecosystems on Earth (and Mars?)*, Ciba foundation symposium 202; pp. 334, John Wiley & Sons Ltd., Chichester, 1996.
5. ファイルの保存形式については、Word で作成した本文の文末に図表(次項で詳説)を挿入し保存する。
6. 図表は英語で作成する。
  - a) 図および写真には Fig.1, Fig.2 等、また表には Table 1, Table2 等の通し番号をつける。
  - b) 図の番号、表題、説明は図の下に、表の番号、表題、説明は表の上、又は下に記し、本文を読まなくても、図表のみで独立して意味が分かるように記す。
  - c) 図および写真は GIF, JPEG 形式で保存、表は Excel 98 を標準仕様とする。
7. 単位と記号は、国際的に慣用されているものを用いる。単位は CGS(MKS) 系または SI 系を原則とし、両者を混用しない。
8. 術語および略語は、IUPAC-IUB の勧告を基準とする。化合物名等で英語表記がよいと判断されるものは、英

語表示とする。その他は一般に関係学会誌等で使用されているものにならう。

9. 標準使用とされているアプリケーションの使用が困難な場合には、個別、柔軟な対応が可能である。

### Ⅲ. 論文の提出と受理

1. 原稿は E-mail で、添付書類により、下記の Viva Origino 編集委員長宛に提出する。その際に、必要事項を入力した投稿規定添付ファイル（別紙または学会ホームページからダウンロード可能）も一緒に送付すること。ただし、E-mail で送付不可能な場合は原稿原本、コピー 1 部、3.5 インチのフロッピーディスクと共に下記に郵送する。

〒599-8531

大阪府堺市学園町 1-1

大阪府立大学大学院工学研究科

川村 邦男

Tel : 072-252-1161 内線 2356

Fax : 072-254-9903

E-mail :

kawamura@chem.osakafu-u.ac.jp

2. 投稿受理日は、原稿が事務局に到着した日とする。ただしレフェリーの指摘による訂正などで、再提出が著しく遅れる場合には、再提出日を受理日とすることがある。
3. 採否は、事務局が依頼したレフェリーの審査を経て決定する。
4. 投稿区分はレフェリーの意見を参照の上、事務局が承諾を得て決定する。

### Ⅳ. 投稿の資格

1. 著者は、生命の起原および進化学会の会員であるか、あるいは会員の紹介を経ることが望ましい。
2. 会員以外の著者に原稿を依頼することができる。

### Ⅴ. 校正

校正は、事務局が形式の統一等に関して校正した後、著者の責任において行う。校正段階での新たな変更等は原則として認めない。

### Ⅵ. 掲載経費の負担

なし。

### Ⅶ. 別刷

著者は、別刷を有料で申し込むことができる。

学会ホームページ：

<http://www.origin-life.gr.jp>